

## 心理療法の実際

《担当者名》○柳生 一自(kyagyu@hoku-iryu-u.ac.jp)、上河邊 力

### 【概要】

子どもとの関係作り、心理学的評価を学び、子ども自身や家族に実践的にアプローチする方法を習得する。

### 【学修目標】

子どもとの関係作り、心理学的評価、子どもを取り巻く環境の見立てを習得する。

子どもや親に対するアプローチの仕方、関わり方を習得する。

子どもを取り巻く社会環境を学び、多職種との連携を踏まえた社会的な介入を習得する。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	子どもとの関係作り1	乳幼児との遊びについて学ぶ。	柳生 一自
2	子どもとの関係作り2	児童思春期の子どもとの会話、関係づくりについて学ぶ。	柳生 一自
3	子どもの発達、神経発達症1	子どもの発達過程と神経発達症について学ぶ。	柳生 一自
4	子どもの発達、神経発達症2	子どもの発達過程と神経発達症について学ぶ。	柳生 一自
5	応用行動分析の基本原則	行動の定義と「3項随伴性(ABC分析)」について学ぶ。 行動を「良い・悪い」ではなく「機能」で捉える視点を学ぶ。	上河邊 力
6	行動を増やす・減らす技法	正の強化、負の強化、消去、弱法の理論について学ぶ。 好ましくない行動への分化強化という視点と実施法について学ぶ。	上河邊 力
7	新しい行動の形成	シェイピング(逐次接近法)とチェイニングについて学ぶ。 スモールステップの設定と、成功体験の作り方について学ぶ。	上河邊 力
8	ペアレントトレーニング(PT)の概要と導入	家族支援としてのPTの意義について学ぶ。 親子相互交流療法(PCIT)をはじめとする標準的なプログラムの構成と導入のコツを学ぶ。	上河邊 力
9	観察と記録の指導	保護者に「子どもの行動を客観的に見る目」を持ってもらうための工夫について学ぶ。 記録シートの活用術を習得する。	上河邊 力
10	具体的介入とロールプレイ	「効果的な指示の出し方」「CCQ(穏やかに・近くで・静かに)」を実践する。	上河邊 力
11	一般化と維持	家庭から学校・社会へ、介入を一時的なものにせず、保護者のエンパワメントに繋げるための終結法について学ぶ。	上河邊 力
12	子どもと親への家族療法	子ども、親の共同面接を想定した家族療法を学ぶ。	柳生 一自
13	不登校と子どもの適応	不登校を呈した子どもの適応、ゴールについて学ぶ。	柳生 一自
14	児童虐待への対応	児童虐待の及ぼす影響、その対応の仕方を学ぶ。	柳生 一自
15	子どもの権利を考える	孤立した子どものアドボカシーについて学ぶ。	柳生 一自

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

マークシート試験 100%

**【参考書】**

石井 正子、他：『新 乳幼児発達心理学〔第2版〕子どもがわかる好きになる』 福村出版 2023年  
古荘 純一、他：『公認心理師カリキュラム準拠 現場実習にも役立つ 子どもの精神保健テキスト 改訂第3版』 診断と治療社  
2023年 978-4787826138  
村瀬 嘉代子：『新訂増補 子どもの心に出会うとき 心理臨床の背景と技法』金剛出版 2020年

**【学修の準備】**

予習は、配布資料をよく読み理解に努める。また、担当箇所の発表準備を行う。(80分)  
復習は、講義の学習内容を確認して理解できない部分はチェックし、参考書で調べるあるいは担当教員に質問する。(80分)

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

DP3. 心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。  
DP1. 心身の健康を保持し学修を継続できる基本的態度と知識・技能を身につけている。  
上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

柳生 一自（医師、公認心理師）、上河邊 力（公認心理師、臨床心理士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

小児科・児童精神科医師、公認心理師、臨床心理士としての実務経験を活かした講義をすることで、子どもと家族との臨床現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。